

兵庫県 の 地震 活動

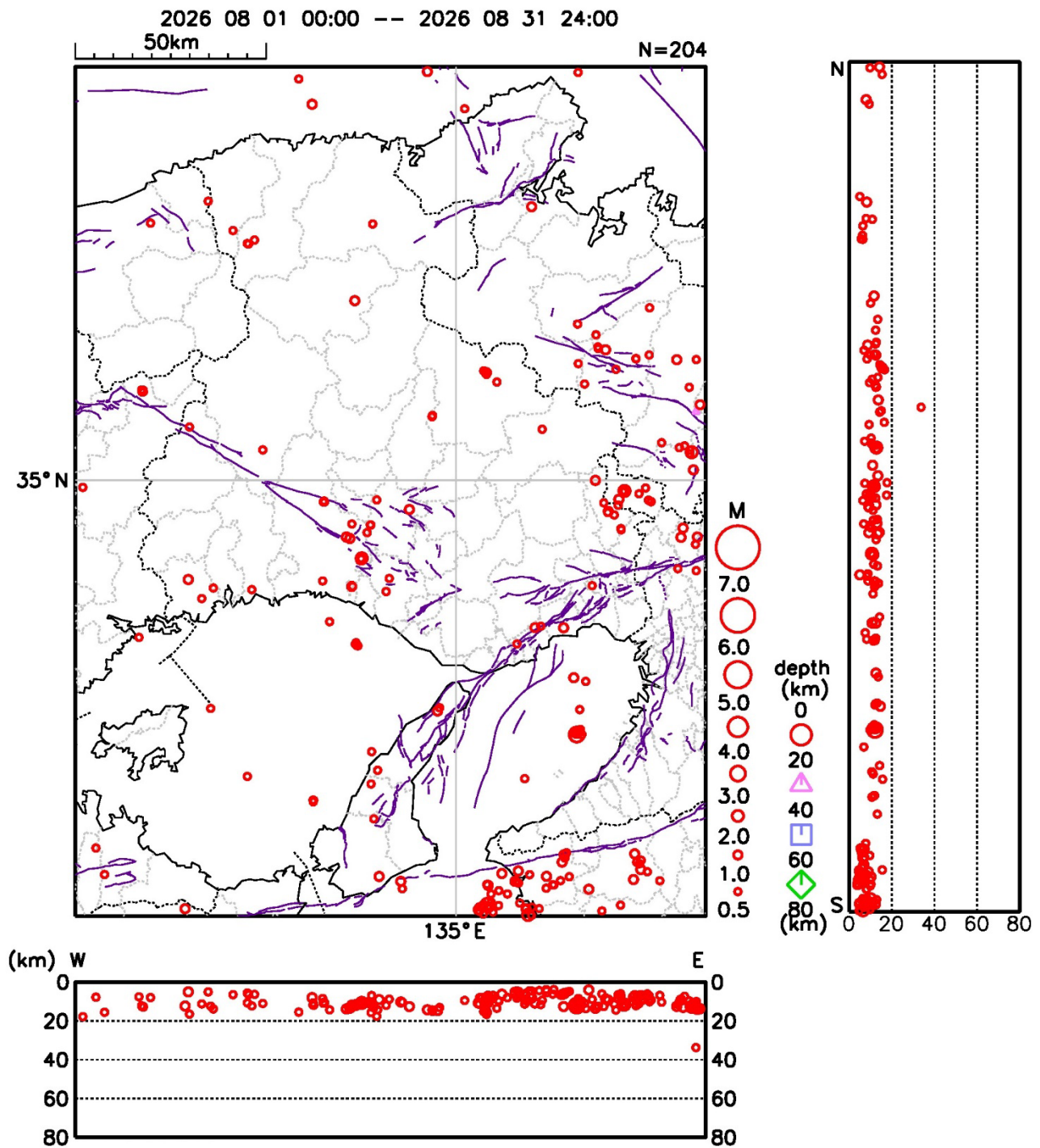
2026 年（令和 8 年） 8 月

震央分布図・断面図・・・・・・・・・・・・・・・・	1
概況・・・・・・・・・・・・・・・・	2
兵庫県で震度 1 以上を観測した地震一覧表・・・・・・・・	2
兵庫県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図・・・・・・・・	2
一口メモ	
六甲・淡路島断層帯の長期評価が改訂・・・・・・・・	4

- * 「兵庫県の地震活動」は月 1 回発行し、兵庫県内の地震活動状況をお知らせするとともに、社会的に関心の高い地震について適宜解説を行います。また、「一口メモ」で地震防災等の知識普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。
- * この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
- * また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025 年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

神戸 地方 気 象 台

震央分布図・断面図



左上：震央分布図 右上：東から見た断面図 左下：南から見た断面図
注) 分布図の紫線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す。

概 況

―― 8 月の概況――

今期間、兵庫県内では震度 1 以上の地震を 2 回観測しました。

10 日 00 時 48 分 滋賀県北部の地震（深さ 16 km、M4.3、前掲震央分布図範囲外）により、豊岡市、神戸市長田区、西宮市、三田市、丹波篠山市、丹波市で震度 1 を観測しました。

23 日 02 時 00 分 茨城県南部の地震（深さ 68km、M5.9、前掲震央分布図範囲外）により、豊岡市で震度 1 を観測しました。

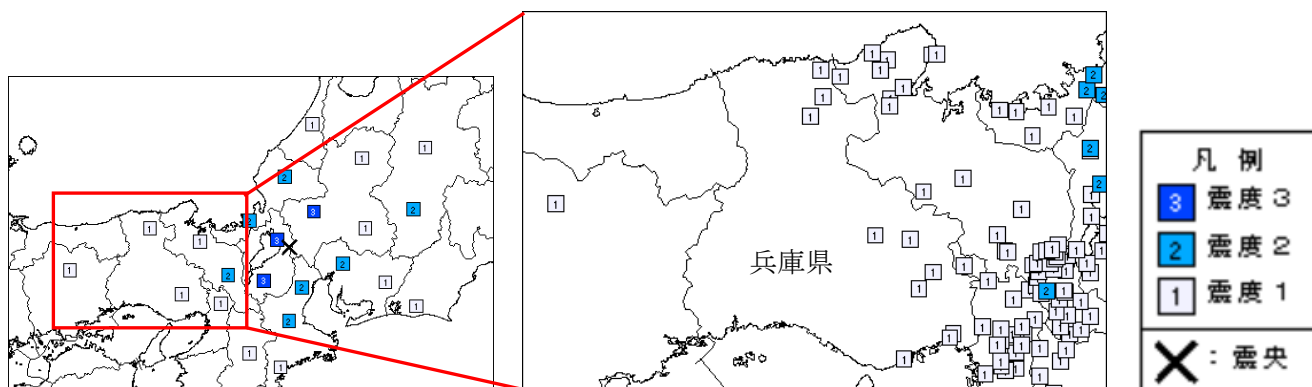
兵庫県で震度 1 以上を観測した地震一覧表

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	マグニチュード	全国最大震度
各地の震度（兵庫県内）						
8 月 10 日 00 時 48 分	滋賀県北部	35° 19.8'	136° 22.9'	16km	M4.3	震度 3
震度 1：豊岡市桜町,豊岡市日高町*,豊岡市城崎町*,神戸長田区神楽町*,西宮市宮前町,西宮市平木*,三田市下深田,三田市下里*,丹波篠山市杉*,丹波市山南町*						
8 月 23 日 02 時 00 分	茨城県南部	35° 59.9'	140° 05.7'	68km	M5.9	震度 5 弱
震度 1：豊岡市桜町						

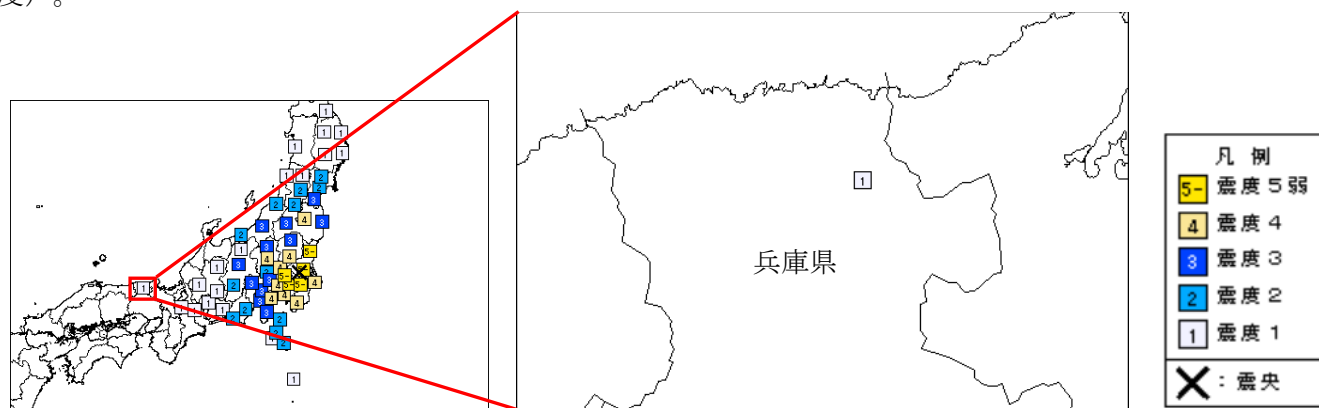
震源要素は、後日修正される場合があります。確定値は「地震・火山月報（カタログ編）」に掲載されます。なお、*印は気象庁以外の地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

兵庫県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図

8 月 10 日 00 時 48 分に発生した、滋賀県北部の地震の震度分布図（左図：地域震度※、右図：観測点震度）。



8月23日 02時00分に発生した、茨城県南部の地震の震度分布図（左図：地域震度※、右図：観測点震度）。



※ 地域震度：国内を 188 の地域に区分し、その地域内の震度観測点のうち最大の震度を観測した地点の震度を地域震度としています。兵庫県は、北部、南東部、南西部、淡路島の 4 地域に区分されています。

一口メモ

六甲・淡路島断層帯の長期評価が改訂

8月28日に政府の地震調査研究推進本部により近畿地域の活断層の長期評価が公表され、六甲・淡路島断層帯六甲山地南麓-淡路島東岸区域の評価がAランクからSランクに引き上げられました。

日本及びその周辺では、これまで大きな被害をもたらす地震が繰り返し発生してきました。しかし、現在の地震学では、地震の規模や発生日時を正確に予測することはできません。そこで、過去の地震活動や調査研究の成果をもとに、将来の地震の発生可能性を長期的な視点から評価する「長期評価」が行われています。

近年、M7未満の地震や主要活断層帯以外の地震によっても被害が生じていることから、ある地域の地震危険度を検討するためには、個別の活断層を評価するだけでなく、その周囲の活断層も含めて総合的に評価する必要があることが明らかになってきました。そのため、地震調査研究推進本部は、新たな評価手法に基づいて、陸域及び沿岸海域に分布しM6.8以上の地震を引き起こす可能性のある活断層を対象とした地域評価を進めており、この度、近畿地域の活断層の長期評価が公表されました。

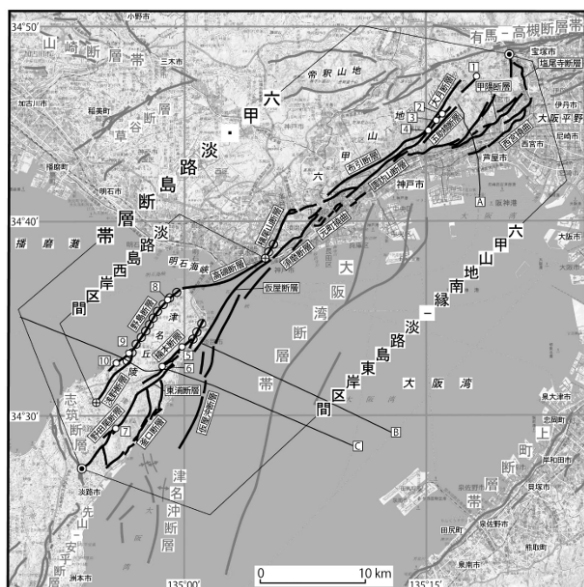
近畿地域では新たに複数の断層帯が評価に加えられ、また既存の活断層の長期評価が改訂されました。特に兵庫県では下表のとおり、六甲・淡路島断層帯の評価のランク等が改訂されました。

長期評価は、将来の地震発生時期を予測するものではありませんが、地震リスクを把握し、防災・減災に役立てるための重要な情報です。今回の評価の見直しを機に、お住まいの地域ではどのような地震が想定されているのかを確認し、地震への備えについて改めて考えてみませんか。

六甲・淡路島断層帯の新旧評価の比較

新しい評価			
活断層のくくり	評価単位区間	長さ 地震の規模 ランク	長さ 地震の規模 (連動の場合)
六甲・淡路島断層帯	六甲・淡路島断層帯	約57 km M7.8程度	
	六甲山地南麓- 淡路島東岸区間	S*ランク	約57 km M7.8程度
	六甲・淡路島断層帯 淡路島西岸区間	約21 km M7.0程度 Zランク	

改訂前の評価			
活断層のくくり (公表日)	評価単位区間	長さ 地震の規模 ランク	長さ 地震の規模 (連動の場合)
六甲・淡路島断層帯 (平成17年1月12日)	六甲・淡路島断層帯主部 六甲山地南麓-淡路島 東岸区間	約71 km M7.9程度 Aランク	約71 km M7.9程度
	六甲・淡路島断層帯主部 淡路島西岸区間	約23 km M7.1程度 Zランク	



六甲・淡路島断層帯の位置図

※活断層における今後30年以内の地震発生確率が3%以上を「Sランク」、0.1%～3%未満を「Aランク」、0.1%未満を「Zランク」としています。また、Zランクでも、活断層が存在すること自体、当該地域で大きな地震が発生する可能性を示します。

地震後経過率が0.7以上である活断層については、ランクに「*」を付記しています。

地震後経過率：最新活動（地震発生）時期から評価時点（2026年1月1日）までの経過時間を、平均活動間隔で割った値。最新の地震発生時期から評価時点までの経過時間が、平均活動間隔に達すると1.0となります。

近畿地域の活断層の地域評価（地震調査研究推進本部）

https://www.jishin.go.jp/evaluation/long_term_evaluation/regional_evaluation/kinki-detail/

六甲・淡路島断層帯の長期評価（一部改訂）（地震調査研究推進本部）

https://www.jishin.go.jp/main/chousa/26aug_chi_kinki/kinki_09_rokko_awajishima.pdf

兵庫県の地震活動と活断層（神戸地方気象台）

<https://www.jma-net.go.jp/kobe-c/bousai/higaijishin/fault.html>

過去に兵庫県に被害をもたらした地震（神戸地方気象台）

<https://www.jma-net.go.jp/kobe-c/bousai/higaijishin/higaijishin.html>